

交遊社會と興す可し 社説

日本國力の發達は絶大なるものにして年々三億の貿易を爲し七八年の後には五十萬の陸軍二十五萬噸の海軍を有するに至らんとし至る所の名邑大市は鐵道を以て駆け出された鐵道所の烟は日本全國を掩はんとする如何に厭世思想を有する者にてても國力窮屈を唱ふるものとては非ざる可し近來國民が非常に活氣を生じて遊山、温泉行、名所詣をして行樂を事とするもの決して偶然の出来事に非ざるを知る可し國民の生活に此くの如き餘裕を生じたる際に當りて我輩は東京市の生活を以て之に比較し聊か耳疑に思ふるものと云ふは他に非ず東京に社交遊樂を統一する英語に所謂るソサイテーと云ふべきものを有せし依然たる割據の姿にして生活の餘裕に比しては其遊樂の規模甚だ狹小淺劣なる一事なり凡そ東京の如き大都會に至りては自から一の國家である云ふべき體格を具ふるものにして國家若し一の有機體ならば大市も正しく一の有機體たらざる可からざるが故に其各部の動は各部の動として其中心なるべき勝敗必ず之を有せざる可らず然らずば其體格の發達幼稚にして不完全なるものと云ふ外なし體へは鶴川初代の江戸には市場の物價も區々にして中心の相場所とてなかりしが人文の發達、生活の上進は自から商業の繁昌を備へして遂に今日の東京市には相場會所を生じて中心市場の形を爲したるが如く社會の中心の有様は其社會の發達の高低を代表するものたるを知る可し此言果して眞實なりとせば交遊遊樂の中心社會を有せざる東京市は其品格に於て尚ほ少く所あり幼稚の段を免れる可し然らず則ち東京は果して交遊社會なるものを有するの能力を欠くものかと云ふに我輩は全く然らずして已に十分の力あるものなりと答へんとする試に政治商業の社會を見るに株式には株式の中心市場あり米穀には米穀の中心市場あり青物には青物、政治社会の快樂を享受するの餘裕を有するは實際の事實に非ずや故に我輩は速に東京をして其交遊社會を有せしめんと欲して已まさるものなり假りに今日の如き不圖不整頓なる東京に外人の來りて東京社會なるものと書かんと欲するものありとせんに彼は何によりて遊の發達に伴ひて奢、浮誇の聲を生ぜんみどを憂ふる者もあらんかなれども我輩は別に憂ふるに足らずとするものなり假りに一步を譲りて其要ありとするも今

の如きが社會の體格の大を加ふると共に事事ふとも亦留まざに非ず畢竟今日の如き社會の制

官報

明治二十九年五月九日
勅令第二百四號
○勅令
外日本臣民管轄地方聽ノ許可ナクシテ朝鮮國ニ渡航スルコトヲ禁スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

○御名御璽
明治二十九年五月九日
勅令第二百四號
○正誤
文武官員ノ他官廳ニ命ニ依ル者ノ外日本臣民ハ管轄地方聽ノ許可ナクシテ朝鮮國ニ渡航スルコトヲ禁スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

朝鮮時事

(五月一日京城發報)

○正誤

○正誤</